

痛風よもやま話

痛風は、高尿酸血症と 関節炎発作の合併症

痛風というと、昔は『帝王病』とか『せい
たく病』とか言われ、西洋ではエジプトのミ
イラや、アレキサンダー大王に代表される昔
からあった病気です。ところが、中世に來日
したポルトガル人宣教師ルイス・フロイスや
明治に來日したドイツ人医師ベルクは「日本
には痛風患者がない」と記録していますの
で、肉食の習慣がなかった明治以前の日本に
は痛風という病気が存在しなかったようです。
ところが、栄養状態が良くなり、日常の運動
量が少なくなった現代では次第に増える傾向
にあり、『一般病』となっています。

痛風の方は、一般的に 痛風気質 と言わ
れるように、病名の元である「風に吹かれた
ような刺激にも、激しい痛みを感じる」痛風

発作を極端に怖がる半面、発作さえ起こらな
ければ治療を中断する傾向にあります。その
結果、発作が起きそうになると慌てて（人に
よっては通常量以上の）痛風の薬（尿酸値を
下げる働きの薬）を服用して、発作がひどく
なり慌てて来院される方が時に居られます。
痛風発作時に尿酸値を下げる薬を服用すると、
むしろ発作をひどくすることが多いことを知
らないために起こる悲（喜？）劇です。

身体の代謝産物の一つである尿酸は、血液
に非常に溶けにくい物質です。哺乳類では人
間やチンパンジーなど（知能の発達した）一
部の霊長類だけが、尿酸を水に溶けやすい尿
素として代謝する酵素を持っていないために
生じる病気が高尿酸血症（関節炎発作を生じ
ると痛風）です。この高尿酸血症は多くの場
合症状が表に出ず、糖尿病・高血圧・動脈硬
化症といった生活習慣病を伴い易く、気がつ
いた時には腎臓病で透析や腎移植が必要にな

痛風は全身の病気です。



素人判断をせず、
専門医の治療を受けましょう。

つていたり、心筋梗塞や脳梗塞・脳溢血とい
った命にかかわる病気に発展したりすること
も稀ではありません。